

新崎盛暉先生 追悼特集

| | |
|-----|---|
| 出版者 | 法政大学沖縄文化研究所 |
| 雑誌名 | 沖縄文化研究 |
| 巻 | 47 |
| ページ | 383-384 |
| 発行年 | 2020-03-31 |
| URL | http://hdl.handle.net/10114/00023262 |

新崎盛暉先生
追悼特集

法政大学沖縄文化研究所は、沖縄が第二次世界大戦後の米軍占領下から日本に復帰した一九七二年に設立された。その母体となったのは、評論家・中野好夫が私費を投じて設けた沖縄資料センターが収集した復帰運動に関する膨大な史資料群であった。新崎盛暉氏は、中野の右腕となってそうした史資料の収集と整理にあたられた。つまり沖縄文化研究所の設立にもっとも実質的に貢献された方であつたといつても過言ではない。氏は研究所設立後もずっと研究所に温かいまなざしを向けられ、私たちの活動を支援してくださつた。

氏が亡くなられてからすでに、二年近くが経つ。この時期に、氏の追悼を特集するのは遅きに失しているとのご批判を免れまいが、『沖縄文化研究』誌が年一回の刊行であるという足回りの悪さに起因するものとご理解いただきたい。これを機に改めて、氏のご冥福をお祈りし、その遺志を受け継ぐ研究所としてこれからも邁進していきたいと念じている。